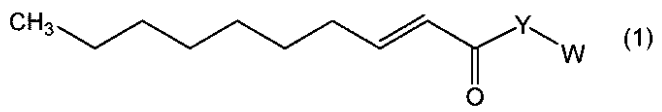
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2013-241408(P2013-241408A)
【公開日】平成25年12月5日(2013.12.5)
【年通号数】公開・登録公報2013-065
【出願番号】特願2013-93441(P2013-93441)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｋ　31/16　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/16　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/14　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/24　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　25/22　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/095　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/165　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/231　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/255　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/40　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/16
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　25/14
Ａ６１Ｐ　25/24
Ａ６１Ｐ　25/22
Ａ６１Ｋ　31/095
Ａ６１Ｋ　31/165
Ａ６１Ｋ　31/231
Ａ６１Ｋ　31/255
Ａ６１Ｋ　31/40

【手続補正書】
【提出日】平成28年4月25日(2016.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
医薬の製造における、下記一般式（　１　）　で表されるトランス－　２　－　デセン酸誘導体又はその薬学的に許容される塩の使用。

【化１】



(1)

〔式中、Ｙは、－Ｏ－、－ＮＲ－又は－Ｓ－を表し、
Ｗは、Ｙが－Ｏ－のときはＷ１を、Ｙが－ＮＲ－のときはＷ２を、又はＹが－Ｓ－のときはＷ３を表し、
（１）Ｗ１はジアルキルアミノアルキル基、アルキルチオアルキル基、アルコキシアルキル基、ジアルコキシアルキル基又はジアルキルアミノアルコキシアルキル基を表し、
（２－１）Ｒがジアルキルアミノアルキル基のとき、Ｗ２は水素原子、アルキル基又はジアルキルアミノアルキル基を表し、
（２－２）Ｒがアルキル基のとき、Ｗ２はＲと各々同一若しくは異なったアルキル基を表し、又は
（２－３）Ｒが水素原子のとき、Ｗ２はアルキル基、シクロアルキル基、ピロリジンアルキル基、フェニル基又はフェニルアルキル基を表し、
（３）Ｗ３はアルキル基、シクロアルキル基、フェニルアルキル基又はジアルキルアミノアルキル基を表す。〕

【請求項２】
Ｙが－ＮＲ－で、Ｒがジアルキルアミノアルキル基で、Ｗ２が水素原子、アルキル基又はジアルキルアミノアルキル基である請求項１記載の使用。

【請求項３】
Ｙが－ＮＲ－で、Ｒが水素原子で、Ｗ２がアルキル基、シクロアルキル基、ピロリジンアルキル基、フェニル基又はフェニルアルキル基である請求項１記載の使用。

【請求項４】
Ｙが－Ｓ－で、Ｗ３がアルキル基、シクロアルキル基、フェニルアルキル基又はジアルキルアミノアルキル基である請求項１記載の使用。

【請求項５】
医薬が、神経栄養因子様作用剤、神経障害の予防若しくは治療剤、脊髄損傷の治療剤若しくは修復剤、又は、抗がん剤投与による副作用の軽減剤である請求項１乃至４のいずれか一項に記載の使用。